

江藤農林水産大臣政務官のスペイン出張の結果概要 (食料安全保障に関するハイレベル会合)

平成21年2月
農林水産省

- I. 日時：1月26日(月)・27日(火)
場所：スペイン・マドリード
- II. 出張者：江藤農林水産大臣政務官・御法川外務大臣政務官
- III. 主催：スペイン政府・国際連合
- IV. 参集範囲：国連加盟各国閣僚級、国際機関、民間セクター・市民社会の代表者等

V. 概要

- (1) 昨年6月にローマで開催されたF A Oハイレベル会合のフォローアップを目的として、①農業・食料安全保障に関するグローバルパートナーシップ(G P A F S)の設立、②今後の食料安全保障に関する取組み等について議論を行った。
- (2) 我が国からは、以下について発言した。
- ①国連の包括的行動枠組みや各国における農業生産増大の重要性
 - ②食品廃棄の問題を踏まえた食文化の見直しや教育の必要性
 - ③幅広いパートナーシップの設立に向けた取組み
 - ④アフリカ・アフガニスタンの食料危機への追加拠出

(注) 農業・食料安全保障に関するグローバルパートナーシップ(G P A F S)とは、食料安全保障の確保に関する協調した取り組みのための国際的な連携を指し、国際機関、政府、民間、N G O等がメンバーとなる。

VI. 江藤政務官の会談

- (1) プシュウ・スペイン環境農村海洋省農村・水担当長官との会談
当方から、各国の食料自給率向上の観点から農業生産を増大させることが重要である旨述べた上で、我が国の農業改革を説明。
- (2) F A Oディウフ事務局長との会談
先方から、食料サミットの開催の意義について説明し、当方から、F A Oのこれまでの取組みを評価しつつ、F A O改革の必要性についても言及。